

長中魂



平成29年11月8日(水)

第24号

伊豆の国市立長岡中学校だより
文責 守野 和弘



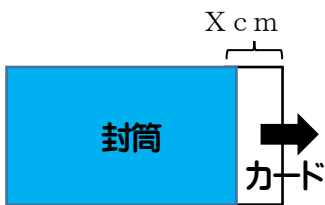
『対話を通して深く学ぶ授業作り』を目指して

～伊豆の国市教育研究会授業研究会でのようす・授業紹介特集 一人一授業公開・紹介⑧～⑫～



伊豆の国市の授業研究会が11月1日(水)に本校で開催され、市内の保育園、幼稚園、小・中学校の教職員が授業を参観しました。このときの授業での生徒のようすを、皆様にお伝えします。

☆☆学習課題「封筒からカードを引き出すとき、引き出したカードの長さに伴って変わるものは？」☆☆☆☆ 二見幸紀先生(1年1組・数学)



比例と反比例を3時間学習してきた後の授業です。左の図について上記の学習課題を提示すると、いくつも意見が出ました。その中で、①『引き出したカードの面積』、②『封筒の中に残るカードの面積』、③『封筒とカードを合わせた横の長さ』に絞って、これらは「いままで勉強してきた比例や反比例ですか」と問われました。すると、『①は比例だ』、『②は片方が増えると、もう一方が減っていくので反比例だ』、『②はどちらでもないのでは?』、『③は

比例だ』、『③は、片方が2倍・3倍になると、もう一方が2倍、3倍になっていないのでは?』という対立する意見も出てきました。「それではどう調べたら分かる?」と聞かれると、『表にしてみると2倍、3倍となっているかが分かる』、『式に直してみると形から分かる』という今まで学習してきたことが解決の見通しとして出てきました。『これら数の関係は比例・反比例なのか』さっそく調べてみると、①は表や $y = 7x$ という式から比例だとわかり、②は x が2倍、3倍・となると y が $1/2$ 、 $1/3$ ・となっていくことに気がきました。③についても x が2倍、3倍・となったとき y は増えるけど、2倍、3倍・となっていないことに気がきました。これらを互いに確かめ合いました。その中で、比例、反比例以外の関数もあるということに気づくとともに、比例、反比例の数量関係について理解を深めていきました。



☆☆学習課題「優先席が空いていたら、あなたは座りますか？」☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 土屋俊二先生(1年4組・道徳)



『混雑した電車内で、もし優先席が空いていたら、あなたは座りますか?』この問いに、『座らない』、『座る』、『座る時もあるし座らない時もある』という考えに分かれました。なぜなのか理由を聞かれると、『譲るべき人が来たら譲ります。』、『混雑しているのだから有効利用した方が良くと思います。』、『荷物が重くてどうしようもない時は座ってしまうと思います。』という意見がありました。それに対して、『座ってしまったら優先席の意味がないと思います。』、『譲るべき人は、見た目では分からない人もいます。だから立っています。』、『席が空いていな

いと、座りたい人も言い出せないと思います。』等の反対の意見がありました。互いに意見を述べ合った後、『優先席が空いていたら、あなたは座るか?』について再度考えました。『座る』という考えから『座らない』という考えになった生徒がいました。『外見だけでは判断できない人がいるから座らない。』という理由でした。また、逆に『座らない』という考えから『座る』に変容した生徒もいました。『自分は席を必ず譲れる。だから自分が席を取っておけば、困った人を助けられるから。』という理由でした。このような一人一人の考えや思いを見取った土屋先生は、『どちらがよいとか間違っているとかはないですね。譲るという思いはどちらも変わらない、それが大切じゃないですか。』と価値付けました。

